

2023 年度 フィールドスタディ（FS）実施企画

授業コード： AA0257

※奨励金のカテゴリーは企画時点のものであり、今後変更される可能性があります。

奨励金の最終的な支給金額は FS の日程終了後に決定します。

テーマ タイトル	第二次世界大戦の「記憶の場」——第二次世界大戦開戦 85 周年に寄せて フランス編
担 当 者	竹本 研史・辻 英史
実 施 時 期	2024 年 3 月 1 日（金） -- 3 月 14 日（木）【予定】
実 施 場 所	フランス共和国（ノルマンディー地方、パリとその周辺、リヨンなど）
協 力 機 関	リヨン第 3 大学、CNRS／リヨン高等師範学校東アジア研究所、欧州委員会デジタル教育ユニット、北海道大学大学院法学研究科、法政大学文学部史学科など
募 集 人 員	8 名
学 習 目 的	本 FS の目的は、2024 年で開戦 85 周年にあたる第二次世界大戦の記憶を、現代フランス社会がどのように意義づけてどのように継承しているのかについて理解することにある。 私たちは本 FS において、記憶の継承のあり方について、以下の論点で進めたい。 (1) 博物館や記念碑が歴史的出来事を伝えるうえで担っている役割 (2) 各地方自治体やアソシエーションによる具体的な実践 (3) 市民が自身の街と第二次世界大戦の記憶とを関連づけている様態 など。

行 程	3月1日（金）羽田空港もしくは成田空港発、現地同日夕方着 ・パリとその郊外 3月2日（土） - 3月4日（月）：パリ・ショアー記念館、ドランシー・ショアー記念館、パリ解放博物館、強制収容所犠牲者追悼碑、凱旋門など。 ・ノルマンディー地方（カーン、ルーアン、ル・アーヴルなど） 3月5日（火）-3月7日（木）：カーン平和博物館、オマハ・ビーチ、オック岬、ファレーズ平和博物館、ルーアン大聖堂、オーギュスト・ペレによるル・アーヴル再建地区、死者への記念碑など ・リヨンとその周辺 3月8日（金） - 3月11日（月）：リヨン市内にある第二次世界大戦で犠牲になったユダヤ人たちやレジスタンスの闘士たちの記念碑、レジスタンス博物館、モンリュック刑務所記念館、トラブールなど 3月12日（火）リヨン第3大学の学生と発表会 3月13日（水）現地発 3月14日（木）羽田空港もしくは成田空港着 ＊訪問都市、訪問場所については、現在交渉中のため、順序も含め今後変更の可能性がある。また上記は移動日も含む。 ＊応募者は不測の事態に備えて、本プログラムの予定の前後数日は予定を入れないようにすること。 ＊本 FS は、辻先生の「ヨーロッパ環境史 I・II」・竹本の「現代思想と人間 I・II」、および過去の長崎 FS、ドイツ FS、金沢・輪島 FS、生糸 FS などと大いに関連するコースである。
現地訪問の際の安全対策	(1) 安全対策 プログラム全体の安全確保のため、本 FS では参加人数を少数に限定する。自主行動時は、3人以上のグループで行動。スリ・置き引きなどの注意の喚起。治安の悪い地区への立ち寄りの禁止。その他、フランス海外旅行時に起こりうるトラブルについて、事前学習と現地で安全を守るための講習を行う。 (2) 感染症対策 法政大学での感染症対策マニュアル、ならびに現地訪問先の感染対策の要請にしたがう。集団感染の場合は、プログラム遂行を停止。
費用	約 50 万～70 万円（1 ユーロ 160 円で計算、ただし左記には航空券、宿泊費、貸切バス代しか含めていない。これらに見学料や現地交通費などが加わることになる）
奨励金の カテゴリー （予定）	（例） C：3,000 円 海外 FS 奨励金
選考基準	志望理由書と面接により選抜
事前・事後 学習の予定	事前学習：毎週水曜もしくは金曜日 6 限に 10 回ほど実施予定 事後学習：3 月から 4 月にかけて 2 回実施、こちらも水曜もしくは金曜 6 限

注 意 事 項	(1) 本コースは新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止または時期・内容を変更する可能性があります。 (2) 中止となった場合は、下記の代替措置によって相当する学習をおこない、単位を取得することができます。 (3) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。中止となった場合でも費用負担をしてもらう場合があります。
中止の場合の代替措置	訪問先関係者によるオンライン講演。受講者諸氏が各自、教員による綿密な指導のもと、東京近郊の関連施設を個別に訪問して、その調査結果をレポートおよび事後学習で報告する。
評価方法	事前学習・本番・事後学習での参加姿勢と、本番実施後のレポート、ならびに事前学習時の小レポートにより評価